

災害対策トレーニングセンター

[災害リスクの軽減とレジリエンスの向上]



生産技術研究所附属災害対策トレーニングセンター
IIS Disaster Management Training Center

<https://tdmtc.tokyo/>

設立趣旨: Statement

毎年のように世界中で地震、風水害などの自然災害が発生し、多くの人命や財産が失われています。これらの災害の規模や頻度を考えると、その対策には総戦力で臨む必要があります。そこでDMTCは、新たな局面における災害対策の研究と人材養成の新しい教育サービスとして、自助・共助・公助の枠組みや組織を超え、相互に補完し連携するために、横断的かつ体系的に災害対策を研究し学び合うことで、様々なセクターで活躍できる人材を養成します。

災害対策に関する「研究」と「教育」を両輪として、災害対策に関する知の集積と研究を促進することで、行政、企業・団体、地域住民など、多様なステークホルダーによる災害対策の発展に貢献します。

なお、DMTCは、大学院情報学環総合防災情報研究センター(CIDIR)とも協力して運営していきます。

ビジョン: For Resilient Future

私たちは、人類が直面する各種の自然災害に対し、個人と社会の災害対策力を養成、実装化することで、国や地域を超え、一人ひとりの命を支え合える未来の実現をめざします。

ミッション: Change the Social Mind

私たちは、災害からより多くの人命を守り、社会の機能を継続させるために、災害対策に係る体系的かつ実践的なトレーニングを提供することで、社会を支える一人ひとりの取組、意識に変化を起し、持続可能な社会に寄与できる人材を養成します。

活動方針: For all Students

人々が災害対策を進めるために必要な知識、スキル、ノウハウを実践的なトレーニングで習得できるよう、災害対策及び教育手法の研究を進め、その成果を新しい教育サービスとして、社会に提供します。

活動効果: Effect to the Society

私たちが提供する教育プログラムにより、家庭・地域・職場等において、予防概念に基づく災害対策を推進し、社会の様々な課題解決に貢献する人材を養成します。

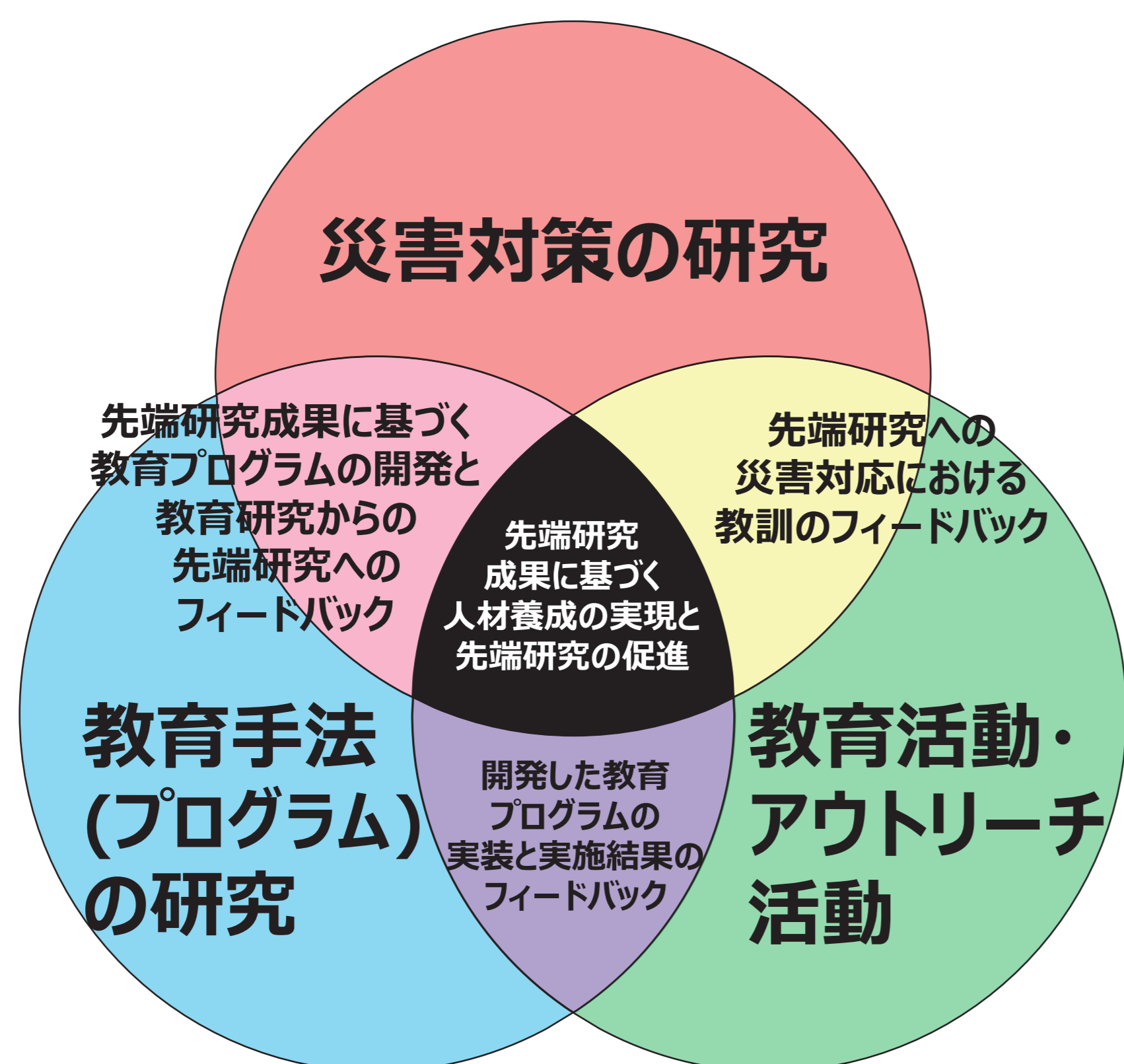


「知」の集積と共有

DMTCは、**学び、体験し、対話し、未来を考える場**です。

DMTCの学習方法の考え方：

- 1) 主体的な学び：**
受講生の地域や組織の状況を踏まえて主体的に学ぶ。
- 2) 対話的な学び：**
異なる多様な他者（行政、企業、住民、ボランティア、国際）や立場の方々と対話し、自己の考え方を広げ深める。
- 3) 深い学び：**
既に受講者が身に付けている知識や情報を関連付け、多面的、複眼的に思考し、問題を見出して解決策を考え、考えを表現・伝達する。



私たちは、災害対策と教育手法の研究成果に基づく教育活動・アウトリーチ活動を行います。また、活動結果のフィードバックによる災害対策と教育手法の研究の促進を図ります。

DMTCの教育ツール

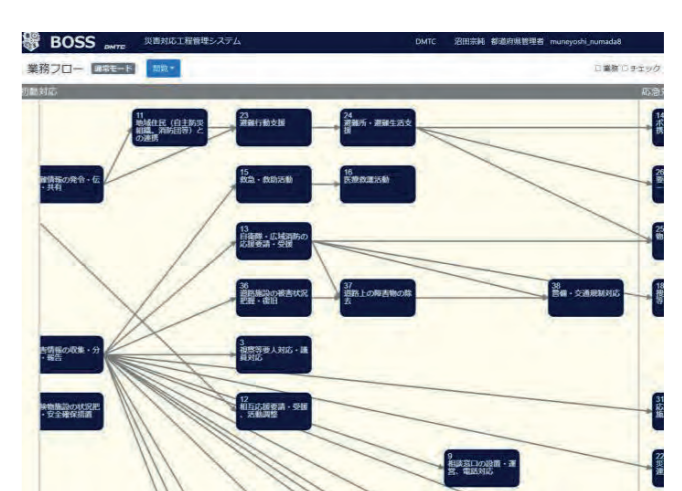
DMTC専用の教務システム



受講状況の可視化



災害対策工程データ蓄積と共有



受講の申し込み管理、講義動画、受講状況の把握、レポート管理、修了証の管理等

Eラーニングの動画

